

User Report

ユーザーレポート

トラック

バス

タクシー

白ナンバー

その他

運転者・管理者・経営者の “三方よし”を実現する自動点呼

株式会社 竜洋運輸

ご利用機器



会社紹介

静岡県磐田市を拠点とする株式会社竜洋運輸は、「安心・安全・確実」なサービスを追求する物流企業です。

定期的な講習会によるドライバーの安全意識向上に努め、信頼性の高い運送・物流部門を展開しています。さらに、足場材の清掃メンテナンスや土留め機材のレンタル管理など、建設現場を支える多角的な事業も強みです。地域に根ざし、高いプロ意識で社会のインフラを支え続けています。

BEFORE 導入前の課題

- 人による対面点呼では点呼業務への集中が阻害される場面があった。
- 点呼簿を手書きで管理していたため、記録が増えるにつれて情報の整理や確認に手間がかかっていた。
- ドライバーへの連絡事項に伝達漏れや伝え忘れが発生することがあった。

AFTER 導入後の効果

- 点呼を安全確認のための業務として明確に位置付けることで、点呼本来の目的に集中できるようになった。
- 点呼結果や記録がデータ化されることで、情報の抜け漏れ防止と管理の効率化を実現した。
- ドライバーへ伝えたい情報を事前に登録できるため、重要事項を確実に漏れなく周知できるようになった。
- 客観的なデータの取得を行うため、運転者の安全や健康に対する意識が高まった。

導入のきっかけ

持続可能な運行管理へ

当社では「e点呼セルフ」導入前から24時間体制の有半点呼を実施しており、安全管理体制は確立されていました。一方で、将来の持続可能な運営を考えると、運行管理業務の効率化や人手不足への対応は重要な課題として認識していました。そうした中で、東海電子から届いた自動点呼実機体験会の案内メールをきっかけに興味を持ち、静岡会場の体験会へ参加しました。当時は国土交通省による認可の動向にも注目していたことから、「話題の自動点呼を実際に見てみたい」という思いもありました。

実機を体験した際、操作性や仕組みの完成度の高さに驚き、「これは導入しない理由がない」と感じました。導入費用については決して安価ではありませんでしたが、人件費削減や業務効率化による効果に加え、持続可能な運行管理を支えるために必要不可欠な投資であると判断し、その場で導入を決断しました。

製品導入による効果・感想

点呼品質と効率化を実現

「e点呼セルフ」の導入により、3つの大きな効果を感じています。一つ目は、運行管理者の負担軽減です。これまで変則的な時間帯の点呼対応を行っていた管理者は、業務時間を効率的に活用できるようになり、働き方の改善につながっています。また、ドライバーへ伝えるべき指示事項をあらかじめ登録しておくことで、伝達漏れの防止にも役立っています。二つ目は、ドライバーの安全・健康意識の向上です。点呼時の確認事項が明確になったことに加え、健康管理機器やアルコール検知器による客観的なデータに基づいて確認を行うことで、安全や健康に対する意識がこれまで以上に高まりました。三つ目は、点呼品質の向上です。これまで定性的であった点呼から、定量的な点呼へと変化したことで、点呼業務がよりシンプルで質の高いものになりました。自動点呼は、健康状態や酒気帯びの有無をデータとして記録できるほか、必要な指示事項も事前登録によって漏れなく伝達できるため、点呼業務の本質を捉えた仕組みだと感じています。その結果、業務規律の強化にもつながり、会社全体

の管理品質向上にも寄与しています。まさに、運転者、運行管理者、経営者の三方よしです。

操作性について (管理者)

スムーズに現場へ定着

管理者、ドライバーともに導入時の抵抗感はほとんどなく、自然に運用へ移行できました。以前から東海電子製のアルコール検知器を使用していたため、免許証確認やアルコールチェックなどの基本的な流れに慣れていたことが大きな要因です。また、「e点呼セルフ」には、顔認証や音声案内が備わっており、操作手順が分かりやすいため、特別な教育に時間をかけることなくスムーズに定着しました。現在も大きなトラブルなく活用できています。

操作性について (ドライバー)

誰でも簡単に操作可能

ドライバーからも大きな抵抗はなく、操作が難しいという声はほとんどありませんでした。案内に沿って順番に操作するだけで点呼が完了するため、迷うことなく利用できています。導入当初は冬場の低温環境の影響で、体温測定がうまく行えないケースがありましたが、測定時の注意点を共有したことで解消しました。現在は安定して運用できており、日常業務に欠かせないツールとして定着しています。

安全への 取り組み

全員参加で安全意識向上

当社ではアルコールチェックに加え、毎月1回、全ドライバー参加の安全会議を実施しています。国土交通省が定める指導監督項目を定期的に取り上げるほか、運転日報のヒヤリハット事例やドライブレコーダー映像を活用しながら安全意識の向上を図っています。また、事故情報も再発防止の教材として全員で共有しており、日頃から周知を徹底することで安全運行の実現に努めています。

独自の活動

健康経営を支える活動

健康管理の一環として、全ドライバーを対象に数年ごとにSAS(睡眠時無呼吸症候群)検査を実施しています。また、健康面で不安や相談があった場合には、専門医療機関の受診を勧奨しています。こうした取り組みが評価され、「健康経営優良法人」の認定も取得しました。中小企業ならではの強みとして、一人ひとりへの指導が行き届きやすく、新しい制度や取り組みも迅速に浸透できる環境を整えています。

今後の展望

業界の模範を目指して

物流企業の模範となり、今後もお客様から選ばれる運送会社であり続けるため、他社にはない強みづくりに取り組んでいきます。平ボディ車やユニック車など特殊車両を活用した事業を継続しながら、新しい技術や仕組みも積極的に導入していく考えです。また、物流業界を取り巻く環境変化を見据え、常に先手を打ちながら対応を進めています。中小企業ならではの機動力を生かし、これからも挑戦を続けていきます。



東海電子への 要望

機能拡充と保守に期待

点呼が実施できる時間帯を企業側で細かく設定できる機能を希望しています。現状では予定時刻より早い時間から点呼が可能となるため、運行計画や拘束時間管理に影響する場合があります。「出発10分前から実施可能」といった設定ができれば、より適切な運用が可能になると考えています。また、機器を長期間安心して利用するため、有償でも定期的なメンテナンスサービスの充実を期待しています。

検討中の 企業様へ

まずは実際に 体験してほしい

まずは実際に体験してみるのが一番だと思います。東海電子では体験会や機器の無償貸出しも行っているため、導入を検討している企業は、そうしたサービスを活用しながら効果を確かめてみるのも一つの方法です。実際に運用すると、その利便性や効果を実感できるはず。特にカメラは監視のためではなく、万が一の際に状況を正確に把握し、ドライバーを守るために重要な設備だと実感しました。新しい仕組みには最初こそ抵抗があるかもしれませんが、目的をしっかりと共有すれば自然に定着します。管理者の負担軽減効果も大きく、他の重要な業務へ時間を充てられるようになります。

取材ご協力

株式会社 竜洋運輸

統括部長 佐原 幸祐 様



住所: 〒438-0213 静岡県磐田市竜洋稗原12-1

URL: <https://www.ryuyounyu.co.jp/index.html>

その他の導入事例はこちらから
ご覧いただけます!

その他の導入事例を見る

